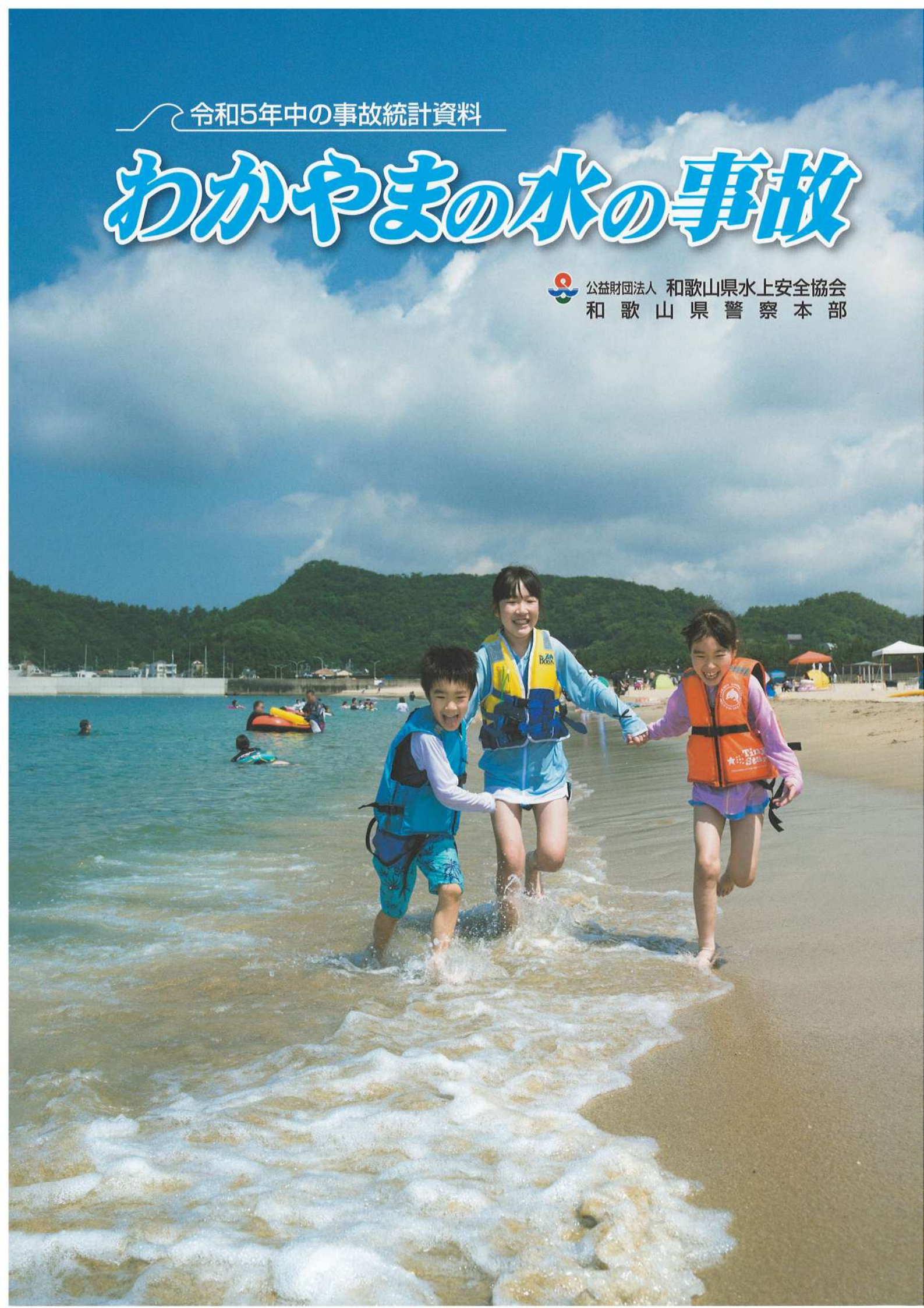


令和5年中の事故統計資料

わかやまの水の事故



公益財団法人 和歌山県水上安全協会
和歌山県警察本部



公益財団法人和歌山県水上安全協会は、平成9年6月に設立されて以来、「安全で安心して楽しめる和歌山の海・川・池の実現」をめざし様々な事業を推進してまいりました。

その間、財政面でのお力添えを賜りました賛助会員様や市町村会員様方をはじめ、幅広いご支援とご協力をお寄せいただいた協会関係者の皆様方に厚くお礼申し上げます。

昨年発生しました県内の水の事故につきましては、

件 数 52件（前年比　＋　6件）

死 者 23人（前年比　＋　2人）

傷 者 23人（前年比　＋　2人）

と、令和4年に比べ、発生件数、死者、傷者のすべてにおいて増加しました。

事故の特徴としては、マリンレジャー中の事故の発生件数が6件減少し、死亡事故の発生はありませんでしたが、その反面、魚釣り等その他の事故については、発生件数で42件（＋12件）、死者23人（＋6人）、傷者16人（＋7人）とすべてにおいて大幅に増加しました。

こういう状況を踏まえ、本年はより一層警察、自治体、関係機関等の協力を得て、広報啓発活動や講習会、水難防止教室等の各種活動により、和歌山県下における水の事故防止に努めていく所存であります。

また、当協会では、海・川・池等でレジャーを楽しもうとされる方々が、それぞれの立場で安全についてお考えいただく際のご参考になればと、毎年、「わかやまの水の事故」という統計資料を作成し、お届けいたしております。

末尾には、安全で快適なレジャーをお楽しみいただくために、お守りいただきたい事柄を「ワンポイントアドバイス」として掲載しておりますので、ご活用いただければ幸いです。

当協会といたしましては、水の事故やトラブル等の防止に向けて、今後も懸命の努力を続けて参りますので、皆様方には、変わらぬご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和6年2月

公益財団法人和歌山県水上安全協会
理 事 長 溝 渕 栄

目次

1	令和5年中の水の事故発生状況	1
2	令和5年中の水の事故概要	4
(1)	概 要	4
(2)	発生状況の推移	5
3	事故の内容と特徴	6
(1)	場所別発生状況	6
(2)	行為別発生状況	7
(3)	原因別発生状況	8
(4)	年齢層別発生状況	9
(5)	月別発生状況	10
(6)	曜日別発生状況	11
(7)	死傷者の居住別発生状況	12
(8)	市町村別発生状況	13
4	主な事業活動の状況	14
5	ワンポイントアドバイス	15
6	津波に対する心得	16

※ 本資料中の数値等は、和歌山県警察本部の調べによるものです。

1

令和5年中の水の事故発生状況

No	署別	月	発生場所		事故内容	当事者関係	
						性別	年齢
1	白浜		白浜町	海	船上で網の引き上げ作業中、横波にあおられ船が転覆した。	男 男	70代 70代
2	和東	1月	和歌山市 北新	川	橋から誤って転落した。	女	50代
3	和西		和歌山市 築港	海	停泊している船に乗船する際、海に転落した。	男	60代
4	有田湯浅		有田市 港町	海	漁船に乗船中、船室を離れた後、行方不明になった。	男	40代
5	新宮	2月	新宮市 王子ヶ浜	海	魚釣りに出かけたが、海中で発見された。	男	70代
6	和北		和歌山市 磯の浦	海	サーフィン中、他者のサーフボードと接触した。	女	40代
7	新宮	3月	串本町 和深	海	魚釣り中、足を滑らせて海中に転落した。	男	50代
8	白浜		白浜町 日置	海	漁船で出航した後、行方不明になった。	男	80代
9	御坊		御坊市 名田町	海	歩行中、海に転落した。	男	50代
10	和北	4月	和歌山市 大川漁港	海	魚釣り中、風の影響で海に転落した。	男	70代
11	田辺		田辺市 龍神村	川	魚釣りをしていたが、川に浮かんでいるのを発見された。	男	70代
12	有田湯浅		湯浅町 田	海	ゴムボートに乗って魚釣り中、誤って転落した。	男	40代
13	白浜		白浜町 田野井	川	遊泳中、下流に流され溺れた。	男	10代
14	御坊	5月	美浜町 和田	川	着衣のまま川に入り、溺れた。	男	10代
15	和北		和歌山市 磯の浦	海	磯釣り中、3人とも高波にさらわれ沖に投げ出された。	女 男 男	50代 40代 10代未満
16	和東		和歌山市 六十谷	池	何らかの理由により、池に転落した。	男	80代

17	和東	5月	和歌山市 上野	池	何らかの理由により、池に転落した。	男	不明
18	岩出		岩出市 尼ヶ辻	用水路	下校途中、水位が上昇した用水路に転落した。	男	10代未満
19	御坊	6月	御坊市 名田町	海	サーフィン中、沖へ流された。	男	40代
20	御坊		御坊市 加尾漁港	海	魚釣り中、何らかの理由により海に転落した。	男	70代
21	御坊		日高川町 高津尾	川	魚捕りのため、増水した川に入水し流された。	男	10代未満
22	御坊		日高川町 和佐	川	何らかの理由により、川に転落した。	男	80代
23	新宮	7月	串本町 和深	海	遊泳中、海中に沈んでいるのを発見された。	男	20代
24	和北		和歌山市 湊	川	5人乗り手漕ぎボートの練習中、全員が水中へ投げ出された。	男 男 男 男 男	20代 20代 20代 20代 10代
25	有田湯浅		広川町 唐尾	海	バナナボートで遊戯中、海に転落した。	男	60代
26	和西		和歌山市 毛見	海	サーフィン中、他者のサーフボードと接触した。	女	40代
27	御坊		日高川町 初湯川	川	川遊び中、浮き輪を装着していたが流れによりひっくり返った。	男	10代未満
28	和北		和歌山市 磯の浦海水浴場	海	サーフィン中、海中に投げ出され自身のサーフボードに頭部を打ち付けた。	男	40代
29	和東		和歌山市 園部	池	何らかの理由により、池に転落した。	男	80代
30	田辺	8月	田辺市 扇ヶ浜海水浴場	海	水上オートバイで遊戯中、全員が海に投げ出された。	女 女 女	20代 10代 10代
31	新宮		那智勝浦町 那智海水浴場	海	波打ち際に、うつ伏せ状態で倒れているのを発見された。	男	不明
32	和北		和歌山市 加太	海	堤防で魚釣り中、誤って海に転落し流された。	男	60代
33	白浜		白浜町 田野井	川	右岸から左岸への遊泳中、流された。	男 男	10代 10代
34	新宮		新宮市 熊野川町	川	川の浅瀬を歩いていたら、下流において深みにはまり流された。	男	90代

35	白浜	8月	白浜町	海	砂浜で、うつ伏せ状態で倒れているのを発見された。	男	70代
36	新宮		新宮市 熊野川町	川	カヌーに乗って川下り中、転覆し下流に流された。	男	50代
37	御坊		日高町 日ノ御碕	海	航行中の貨物船が、航行中の船と衝突し転覆した。	男 男 男 男 男	70代 60代 50代 40代 30代
38	田辺		田辺市 龍神村	川	魚釣り中、川の中でうつ伏せ状態で倒れているのを発見された。	男	60代
39	御坊	9月	日高川町 高津尾	川	遊泳中、川の深みにはまり流された。	男	40代
40	御坊		日高川町 高津尾	川	遊泳中、川の深みにはまり流された。	男	20代
41	和西		和歌山市 新和歌浦	海	水遊び中、何らかの理由により溺れた。	男	10代未満
42	和東		和歌山市 小豆島	川	カヤックに乗り魚釣り中、川岸に生えていた木と接触し転覆した。	男	30代
43	和東	11月	和歌山市 小豆島	川	橋から誤って転落した。	男	20代
44	有田湯浅		由良町 大引	海	前方の船舶に、後方から船舶が追突した。	男 男 男	60代 30代 30代
45	有田湯浅		有田市 宮崎町	海	アルミボートで、沖磯に渡り魚釣りをしていたが、岸に戻ろうとして転覆した。	男 男	70代 60代
46	和東		和歌山市 直川	川	プレジャーボートで魚釣り中、船底の蓋をし忘れたことにより、転覆した。	男	60代
47	和北		和歌山市 加太	海	漁船に係留させる際、誤って海に転落し、助けようとした者も転落した。	男 女	80代 80代
48	有田湯浅		湯浅町 小浜海岸	海	2名でカヤックに乗っていたが、波により転覆した。	男 女	50代 50代
49	御坊		日高町 方杭	海	船外機付きボートで魚釣り中、転覆し、2名とも海上に漂流した。	男 男	50代 40代
50	新宮	12月	那智勝浦町 勝浦	海	勝浦漁港で、海面に浮いているのを発見された。	男	70代
51	新宮		串本町 和深	海	磯場で魚釣り中、岩場から岩場へ移動しようとして、足を滑らせて海中へ転落した。	男	60代
52	和北		和歌山市 磯の浦	海	2人でサーフィン中、沖へ流された。	女 女	30代 10代

2

令和5年中の水の事故概要

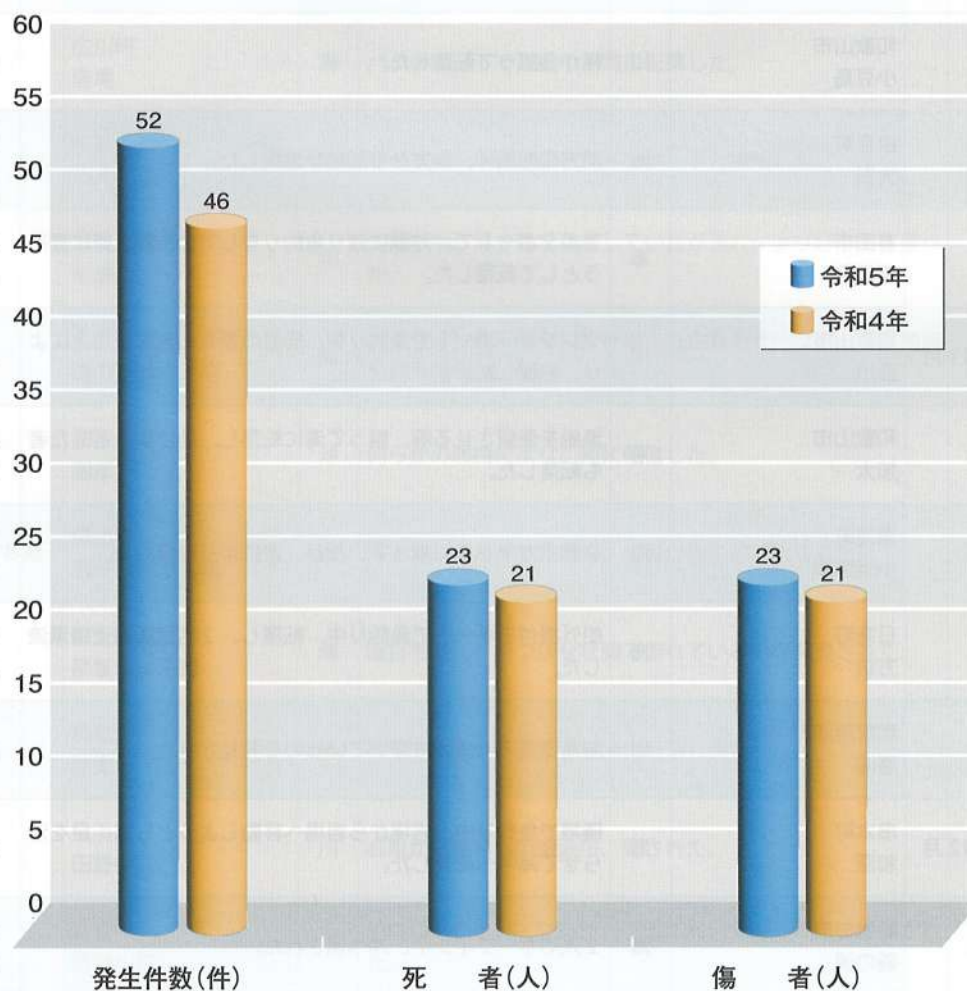
(1) 概 要

令和5年中、和歌山県下で発生した水の事故は52件で、うち死者は23人、傷者も23人でした。前年比、発生件数で6件増加し、死者、傷者共2人増加しました。

※ 発生状況(総括)

区分	年	令和5年	令和4年	増減数	対前年比(%)
発生件数(件)		52	46	6	113.0
死 者(人)		23	21	2	109.5
傷 者(人)		23	21	2	109.5

水の事故発生状況



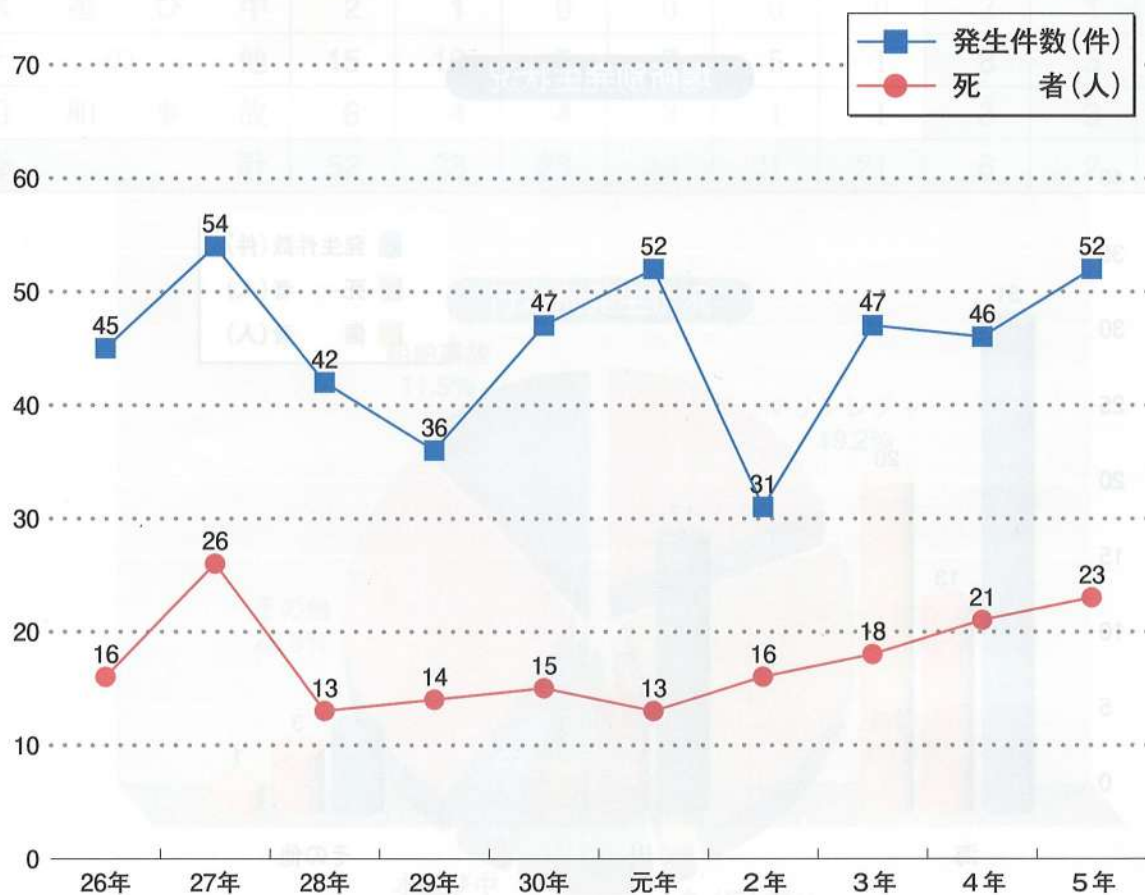
(2) 発生状況の推移 (平成26年～令和5年)

- 発生件数は52件で、過去10年間で2番目に多い発生となりました。
- 死者数は、過去10年間で最も多い平成27年に次いで、23人となりました。

発生状況の推移 (平成26年～令和5年)

区分 \ 年	26年	27年	28年	29年	30年	元年	2年	3年	4年	5年	過去10年間の合計
発生件数(件)	45	54	42	36	47	52	31	47	46	52	452
死者数(人)	16	26	13	14	15	13	16	18	21	23	175

過去の発生状況



3

事故の内容と特徴

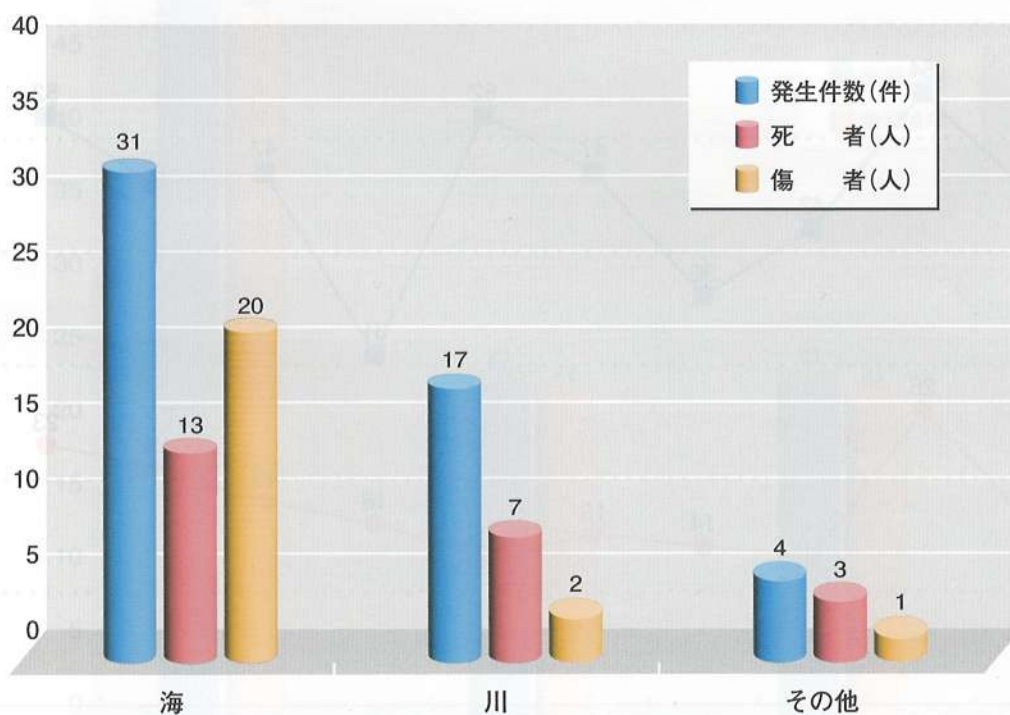
(1) 場所別発生状況

- 海での事故が31件で、前年比9件の減少となっています。
- 川での事故は17件で前年比12件の増加となっています。
- 令和5年中は、池での事故が3件発生しました。

場所別

区分 \ 場所	海	川	その他	計
発生件数(件)	31	17	4	52
構成率(%)	59.6	32.7	7.7	
死者(人)	13	7	3	23
構成率(%)	56.5	30.4	13.0	
傷者(人)	20	2	1	23
構成率(%)	87.0	8.7	4.3	

場所別発生状況



(2) 行為別発生状況

○ 魚釣り中の事故は13件で、前年比4件増加し、死者は5人で1人減少しました。

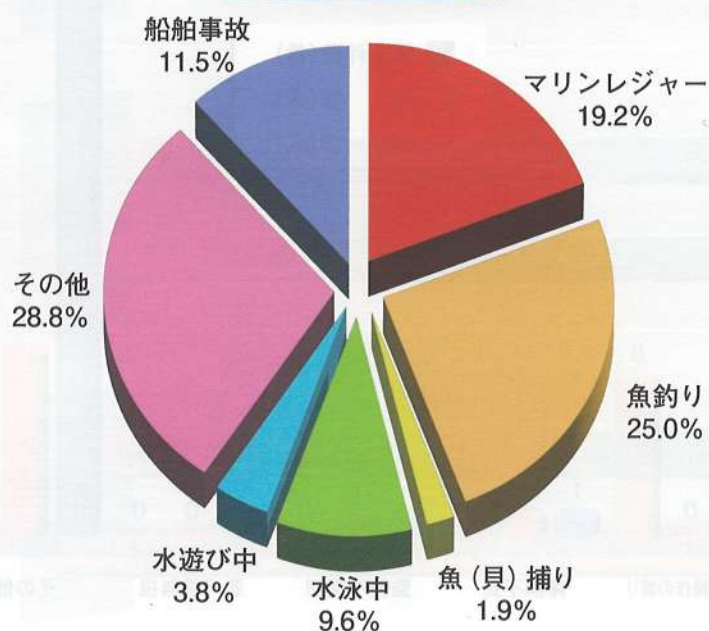
死者数全体の約25%を占めています。

○ マリンレジャー中の事故は10件で、前年比6件の減少となっています。

行為別

年 行為		令和5年			令和4年			増減数		
		発生 (件)	死者 (人)	傷者 (人)	発生 (件)	死者 (人)	傷者 (人)	発生 (件)	死者 (人)	傷者 (人)
マリンレジャー	サーフィン	5	0	4	8	1	8	-3	-1	-4
	水上オートバイ	0	0	0	4	1	3	-4	-1	-3
	スキューバダイビング	0	0	0	1	0	0	-1	0	0
	その他	5	0	3	3	2	1	2	-2	2
	小計	10	0	7	16	4	12	-6	-4	-5
魚釣り		13	5	6	9	6	3	4	-1	3
魚(貝)捕り		1	1	0	3	2	1	-2	-1	-1
水泳中		5	2	1	8	3	3	-3	-1	-2
水遊び中		2	1	0	0	0	0	2	1	0
その他		15	10	5	7	5	1	8	5	4
船舶事故		6	4	4	3	1	1	3	3	3
合計		52	23	23	46	21	21	6	2	2

行為別発生状況



(3) 原因別発生状況

- 操縦・操作の誤りの事故が全体の約19%を占めています。
- その他及び原因不明の事故は39件発生し、20人が死亡しています。

原因別

区 分 \ 原 因		原 因 別 発 生 状 況							合 計
		危 険 な 場 所	操 縦 ・ 操 作 の 誤 り	体 調 不 良	監 護 不 適 切	悪 天 候 無 視	そ の 他	原 因 不 明	
発 生 件 数 (件)		1	10	1	1	0	28	11	52
	構成率(%)	1.9	19.2	1.9	1.9	0.0	53.8	21.2	
死 者 (人)		1	0	1	1	0	9	11	23
	構成率(%)	4.3	0.0	4.3	4.3	0.0	39.1	47.8	
傷 者 (人)		0	8	0	0	0	15	0	23
	構成率(%)	0.0	34.8	0.0	0.0	0.0	65.2	0.0	

原因別発生状況



(4) 年齢層別発生状況

- 高齢者の事故は、前年比、事故者数で12人増加し、死者が5人増加しました。
- 子どもの事故は、前年比、事故者数で1件増加し、死者は2人でした。

年齢層別

年	行為者	子ども (0～15歳)			若者 (16～24歳)		一般 (25～64歳)	高齢者 (65歳～)	合計
		幼児	小学生	中学生	高校生	その他			
令和5年	事故者数	2	3	1	0	14	28	25	73
	死者(人)	1	1	0	0	2	5	14	23
	傷者(人)	0	1	0	0	2	14	6	23
	負傷等なし	1	1	1	0	10	9	5	27
令和4年	事故者数	3	0	2	0	10	31	13	59
	死者(人)	0	0	0	0	1	11	9	21
	傷者(人)	0	0	0	0	6	13	2	21
	負傷等なし	3	0	2	0	3	7	2	17
増減数	事故者数	-1	3	-1	0	4	-3	12	14
	死者(人)	1	1	0	0	1	-6	5	2
	傷者(人)	0	1	0	0	-4	1	4	2
	負傷等なし	-2	1	-1	0	7	2	3	10

年齢層別発生状況



(5) 月別発生状況

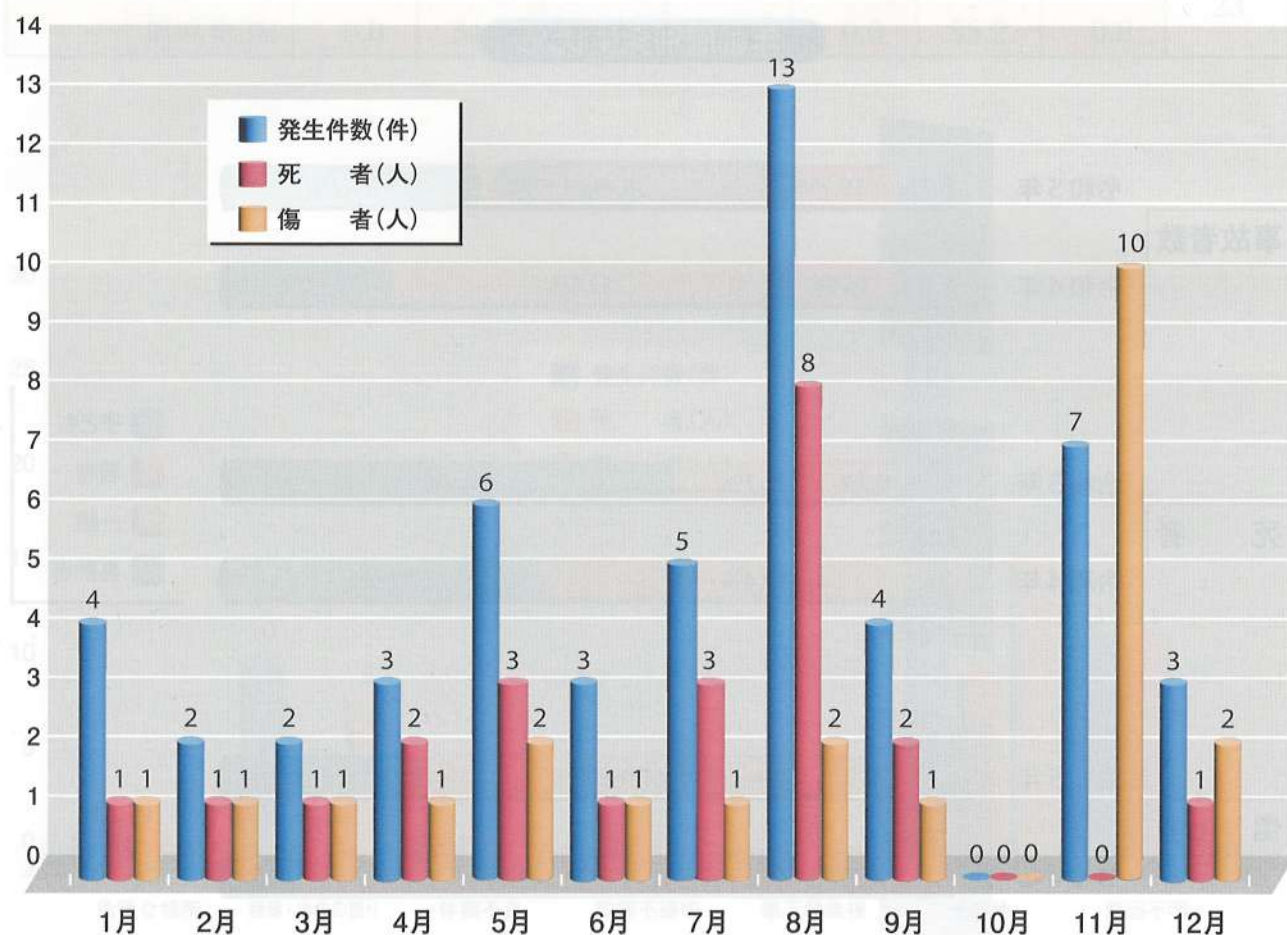
○ 夏季（7～8月）の発生件数は18件で、年間の34.6%を占めました。

○ 夏季の死者は11人、傷者は3人でした。

月別

区分 \ 月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
発生件数(件)	4	2	2	3	6	3	5	13	4	0	7	3	52
構成率(%)	7.7	3.8	3.8	5.8	11.5	5.8	9.6	25.0	7.7	0.0	13.5	5.8	
死者(人)	1	1	1	2	3	1	3	8	2	0	0	1	23
構成率(%)	4.3	4.3	4.3	8.7	13.0	4.3	13.0	34.8	8.7	0.0	0.0	4.3	
傷者(人)	1	1	1	1	2	1	1	2	1	0	10	2	23
構成率(%)	4.3	4.3	4.3	4.3	8.7	4.3	4.3	8.7	4.3	0.0	43.5	8.7	

月別発生状況



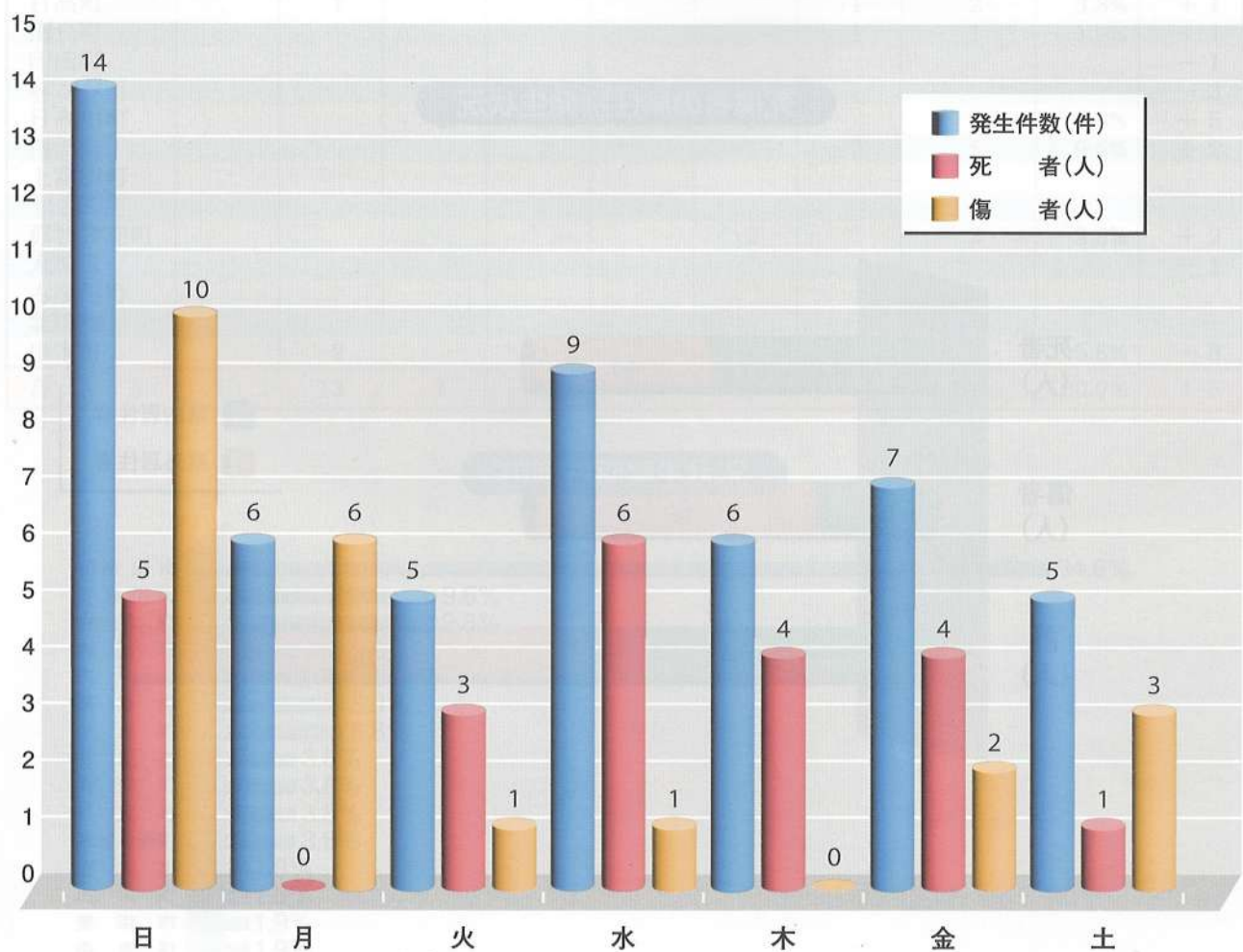
(6) 曜日別発生状況

○ 曜日別では、事故の発生件数の内、36.5%が土曜日、日曜日に発生しています。

曜日別

区分 \ 曜日	日	月	火	水	木	金	土	計
発生件数(件)	14	6	5	9	6	7	5	52
構成率(%)	26.9	11.5	9.6	17.3	11.5	13.5	9.6	
死者(人)	5	0	3	6	4	4	1	23
構成率(%)	21.7	0.0	13.0	26.1	17.4	17.4	4.3	
傷者(人)	10	6	1	1	0	2	3	23
構成率(%)	43.5	26.1	4.3	4.3	0.0	8.7	13.0	

曜日別発生状況



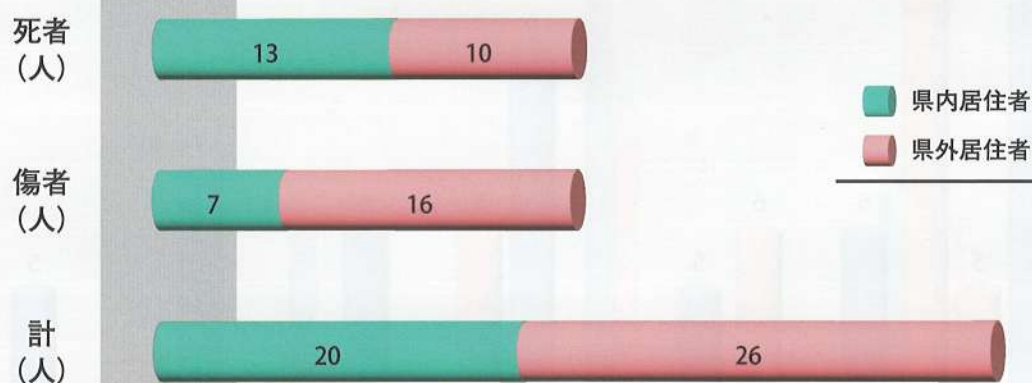
(7) 死傷者の居住別発生状況

- 死者は、前年比、県内居住者が3人増加、県外居住者は1人減少しました。
- 傷者は、前年比、県内居住者は3人増加し、県外居住者は1人減少しました。

死傷者の居住別

区分 \ 居住	県内居住者	県外居住者	計
死 者 (人)	13	10	23
構成率 (%)	56.5	43.5	
傷 者 (人)	7	16	23
構成率 (%)	30.4	69.6	
計 (人)	20	26	46
構成率 (%)	43.5	56.5	

死傷者の居住別発生状況



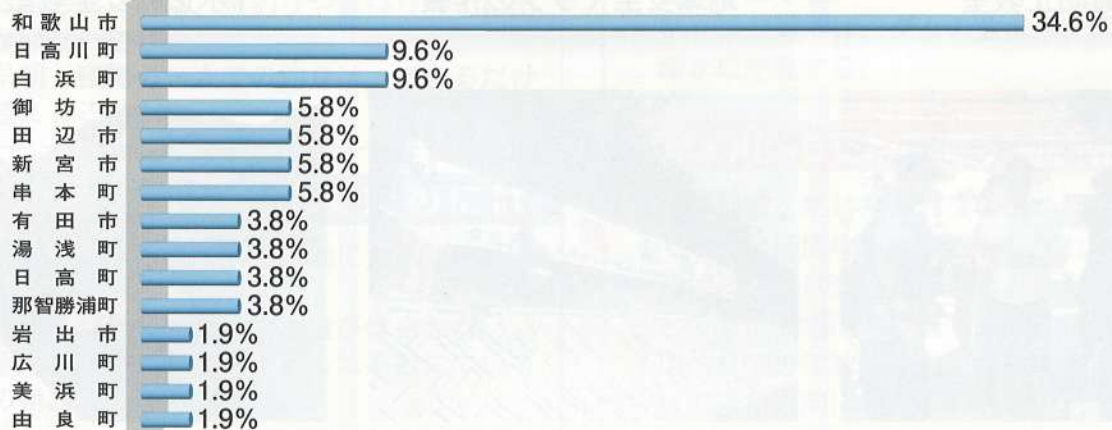
(8) 市町村別発生状況

- 和歌山市が18件の発生で、前年比で4件増加し、全体の34.6%を占めています。
- 日高川町と白浜町が5件の発生となっています。

市町村別

発生 市町村名	行 為 別							発生件数 (件)	率 (%)	前年比
	レジャー	魚釣り	魚(貝)捕り	水泳中	水遊び	その他	船舶事故			
和歌山市	5	5			1	7		18	34.6%	+ 4
海南市										- 1
橋本市										
有田市							2	2	3.8%	
御坊市	1	1				1		3	5.8%	+ 3
田辺市	1	2						3	5.8%	+ 2
新宮市	1	1				1		3	5.8%	+ 2
紀の川市										- 3
岩出市						1		1	1.9%	+ 1
紀美野町										
かつらぎ町										
九度山町										
高野町										
湯浅町	1	1						2	3.8%	+ 2
広川町	1							1	1.9%	- 1
有田川町										- 1
美浜町				1				1	1.9%	
日高町		1					1	2	3.8%	+ 1
由良町							1	1	1.9%	+ 1
印南町										- 1
みなべ町										- 3
日高川町			1	1	1	2		5	9.6%	+ 5
白浜町				2		1	2	5	9.6%	+ 2
上富田町										
すさみ町										
那智勝浦町						2		2	3.8%	+ 2
太地町										- 1
古座川町										
北山村										
串本町		2		1				3	5.8%	- 8
合 計	10	13	1	5	2	15	6	52	100.0%	+ 6

市町村別発生状況



4

主な事業活動の状況



海岸の清掃



海水浴場での啓発



釣り場での啓発



津波避難訓練での啓発



渡船場での啓発



キャンプ場での啓発



水難防止教室



地域安全マップの作製



「水辺の安全教室」



乗船口での啓発



横断幕の設置



事故現場調査

5 ワンポイントアドバイス

海・川・池でのレジャーを安全に楽しんでいただくために

共通事項

- ・必ず気象（海象）の状況を確認し、悪天候時には水に入らない。
- ・**飲酒時や体調不良時**には水に入らない。
- ・携帯電話等、**万一の場合の連絡手段**を確保する。
- ・事故が起きた時には、**警察その他の関係機関に通報**する。
- ・**ルールとマナー**を守る。

水上オートバイ・ボートでは

- ・速度や騒音等で遊泳者や付近住民に迷惑をかけないようにする。
- ・消音器等を改造しない。
- ・遊泳区域への乗り入れや異常接近など、遊泳者等に危険や迷惑を与えるような行為はしない。
- ・必ずライフジャケットを着用する。

ダイビングでは

- ・正しい海域の状況を知ってから行動する。
- ・ダイビングの基本を守る。
- ・必ずバディを組み、初心者に合わせた潜水計画をたてる。
- ・潜水は最良の体調で行う。無理をしない。
- ・器具の事前点検を確実にし、潜水旗を忘れずに掲出する。

高齢者の事故を防ぐためには

- ・転落のおそれなどのある危険な場所での釣りは、控えること。
- ・体調の悪い時は、魚釣りや貝採りなどに出かけないこと。
- ・早朝・夜間の一人での釣りは、できるだけ控えること。

子どもの事故を防ぐためには

- ・保護者は常に子どもの行動に注意し、子どもから目を離さない。
- ・子どもだけでの水泳や水遊びはさせない。
- ・家庭・学校・現場で子どもに事故についての指導を徹底しておく。

釣りでは

- ・釣り場所の選定時には、安全面にも十分配慮する。
- ・一人での釣りは控え、高波・転落等にも十分注意する。
- ・必ずライフジャケットを着用する。

サーフィンでは

- ・波の有無にかかわらずリーシュコードは必ず付ける。
- ・夏季期間中、一般遊泳場には絶対に入らない。
- ・過信したライディングはしない。
- ・前乗り（ドロップイン）はしない。

遊泳・水遊びなどでは

- ・自然を甘く見ず、場所選びは慎重にする。
- ・海では突然の高波に注意する。
- ・川は流れが速く、思わぬ深みもあるので十分に注意する。
- ・キャンプ場では、ダム放水や大雨による増水に注意する。

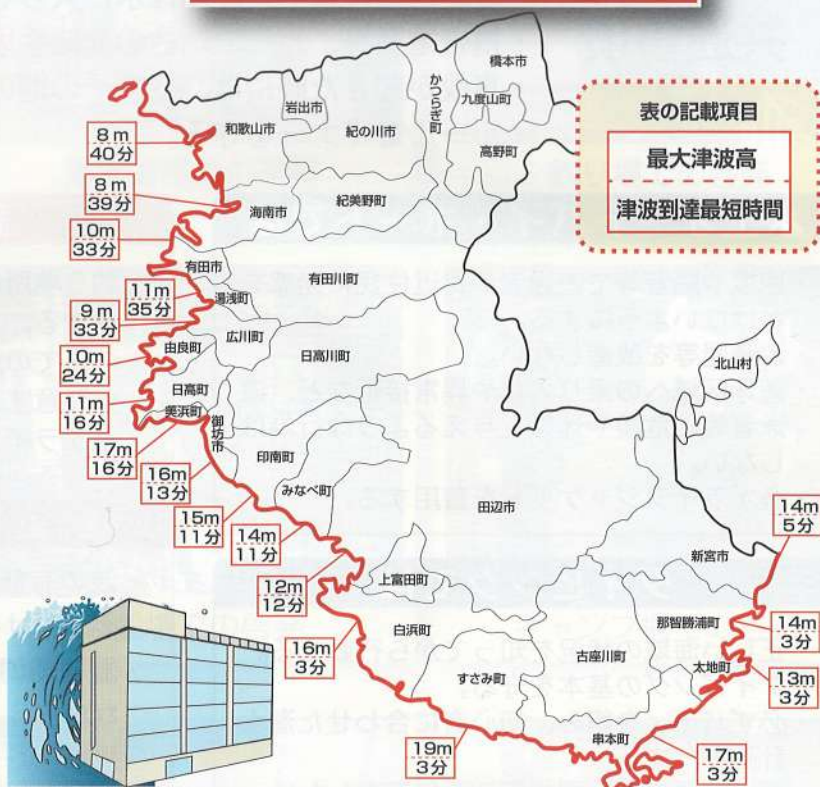
海岸・川べりで地震にあった場合には

- ・強い地震を感じた時、又は弱い地震であっても長い時間ゆっくりとした揺れを感じた時は、直ちに海浜から離れ、急いで高台などの安全な場所へ避難する。
- ・川べりでの津波は川を遡るので、流れに対して直角方向に素早く避難する。

地震が来たらすぐ避難 津波が来る!!



南海トラフの巨大地震による 最大津波高・津波到達最短時間



約 19m の津波は
ビル約 7 階分に相当します。

(平成 25 年 3 月和歌山県発表から)

津波に対する心得

1 津波避難三原則を身に付けましょう！

(群馬大学大学院 片田敏孝教授 提唱)

想定にとらわれるな！

予想以上の津波が襲ってくる可能性があります。「ここまで津波はこない」ではなく、想定にとらわれずに避難しましょう。

最善を尽くせ！

そのときできる最善を尽くして、妥協せず、より高くより早く避難しましょう。

率先避難者たれ！

率先して避難する姿を見て、他の人も避難するようになります。多くの人の命を守るため、まず自分が率先して避難しましょう。

2 平素から地域で行われている避難訓練や防災講習会に参加しましょう！

3 いざという時の避難先や連絡方法について家族と話し合っておきましょう！

(提供：和歌山県警察本部)

和歌山県遊泳者等の事故防止に関する条例（抜粋）

遊泳者のみなさんへ

遊泳者のみなさんも他の人に危険な行為や迷惑をかけないようにしましょう。条例では次のことが禁止され、警察官の中止指示に従わなかった場合は罰せられます。

- 1 海水浴場での、危険な器具の携帯の禁止（第9条）
- 2 多数の人が遊泳する海域等における危険行為の禁止（第16条）

水上オートバイ利用のみなさんへ

危険行為、迷惑行為はやめましょう。（第15、17条）

海や川において、みだりに水上オートバイを疾走させ、急転回させる等により、遊泳者、潜水者、釣人、漁業に従事している人等に、「危険を生じさせる行為」は条例で禁止されています。

また、騒音等による迷惑をかけないようにしましょう。

プレジャーボート操船者の遵守事項（第18条）

- 1 出航前に、気象状況等を確認する。
- 2 飲酒、病気等のために正常な操縦ができないおそれのある状態で操船しない。
- 3 漁業施設等がある場所や遊泳者等がいる場合は、減速し、または、接近しない等の安全な方法で航行する。
- 4 遊漁者を磯等に渡す場合には、気象や海象、磯等の地形を把握するとともに、遊漁者の動向に応じた操船をする。
- 5 水上スキー等をけん引する場合は、その者に救命胴衣を着用させるとともに、見張り要員を配置する。
- 6 水難事故を起こしたときは、直ちに負傷者を救助する等の措置をとり、警察官に通報する。

編集・発行

公益財団法人 和歌山県水上安全協会

☎640-8313 和歌山市西1番地 交通センター内

☎ 073-473-2579

HP <https://suiankyo.com>

監 修

和歌山県警察本部地域指導課